

承認番号	
研究課題名	消化器癌における免疫環境に関する研究
研究の意義・目的	近年、免疫療法の発展は目覚ましく、多くの癌腫において免疫療法が実用化されてきています。本研究では消化器癌（特に食道癌、胃癌）における術中の腹（胸）水洗浄液を用いて、体腔内に浸潤する免疫担当細胞の評価を行い、臨床病理学的因子や予後との関連について評価します。また近年、腹（胸）腔鏡手術やロボット支援手術が普及していますが、その低侵襲性について明確な根拠は乏しいのが現状です。体腔内の免疫環境を開腹（胸）手術と比較することにより、免疫学的側面からその低侵襲性について評価をします。本研究は将来的には今後の免疫療法の発展に貢献できるものと考えています。
研究を行う期間	承認後～令和9(2027)年3月31日
研究対象者の範囲	平成23(2011)年4月1日～令和6(2024)年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科で、食道癌・胃癌の手術を受けた患者さまが対象です。承認前に腹（胸）腔内洗浄液がすでに保管されている場合は、既存試料として研究対象とします。
お願いする内容	<input checked="" type="checkbox"/> 大阪公立大学医学部附属病院のみで研究いたします。 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録、腹（胸）腔内洗浄液を研究に使わせていただきます。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大平雅一（大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科 教授）
代表施設のURL	該当しません
研究の成果を公表する方法	研究結果については、学会発表、論文により公表します。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
連絡先	大阪公立大学医学部消化器外科医局 担当者：吉井 真美 電話06-6645-3838